

皆さまの声を市政に！

鈴木 たかひで

ヤル氣!
元氣!
鈴木!

Vol.24



盛夏の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃の諸活動に対し、多大なご支援を賜りお礼申し上げます。近頃は新型コロナウイルス感染症対策が最優先の取り組みとなっています。段階的にワクチン接種も進んでいますが、未だ多くの方が大きな影響を受けています。この難局を乗り越え、市内経済の回復にむけた喚起や、新しい生活スタイルに向けた行政の適応など、アフターコロナを見据えた豊かな暮らしの実現に取り組んで参ります。さて、6月定例議会では、多くの議案の審査に加え、一般質問にも登壇しましたのでここに報告します。酷暑が続きますが皆様にはお体にご自愛いただき、ますますのご活躍とご健勝を心からご祈念いたします。

お気軽にご相談ください！

暮らしの相談

歩道の修繕

Before



After



議会体制

常任委員会と特別委員会

令和3年度に所属する常任委員会と特別委員会を報告します！

委員会とは：市政が範囲が広く内容も複雑なため、いくつかの委員会を設けて本会議の予備的な審査をしたり、重要な事柄について調査をしたりしています。常任委員会は議会に常に置かれている委員会で市政を6つに分類し、専門的に審査します。常任委員会は全ての議員がいずれかに所属します。特別委員会は市の重要な課題など特定の事柄について審査や調査をします。特別委員会は全ての議員が所属するわけではありません。

常任委員会

地域生活委員会

- 【主な所管事項】
- 地域自治区及び地域協議会
 - 自治振興及び地域のまちづくり
 - 防災、防犯及び交通安全
 - 上水道及び下水道
 - 消防



特別委員会

- 【主な調査事項】
- 人工知能や情報通信技術の活用を見極め、効率的かつ危機管理など対応した議会活動を目指します。

私は副委員長を拝命しました。この委員会が市民の利益につながるよう意識して取り組みます。

議会情報戦略推進特別委員会



6月定例議会への取り組み（発言した質問・意見・一般質問など）

補正予算

中央公園第二整備

Q. 質問

先行整備区域を設定した理由は

A. 答弁

中央公園第二期整備事業の面積は23.5haと広大であり、区域分けをしました。豊田スタジアムとの相乗効果、スポーツツーリズムへの取り組みによる整備効果の発現を考慮して先行で整備する区域を選定した。

Q. 質問

整備の計画と事業概要は

A. 答弁

先行で整備する区域については令和8年のアジア大会に合わせ供用を開始する計画である。整備のイメージとしては隣接する豊田スタジアムと連携しながら、スポーツツーリズムや市民利用など、多様な使い方を視野に入れ、現時点ではサッカーグランド、クラブハウスなどの整備を想定しているが、詳細は今後の検討していく。

賛成意見

広大な整備区域の中で、整備の優先順位をきめることで市民利用やスポーツ観光による早期の効果を得る取組を評価。今後は、民間活力を活かした運営など、魅力向上に向けた検討を重ね、市民に愛される公園となることに期待し賛成。



一般質問

内容の一部紹介

「ソーシャルインパクトボンドへの取り組み」「ふるさと納税への取り組み」の2つをテーマに一般質問に登壇しました。



民間活力を活かした魅力的な事業展開を図られるとして注目されている*ソーシャルインパクトボンド（SIB）について、対象事業の拡大を求めて質問しました。また歳入確保の取り組みとして、ふるさと納税への取り組み強化を求めて質問しました。

Q. 質問

SIB対象事業拡大についての考えは

A. 答弁

今年度より開始したSIBを活用した介護予防事業を実施するなかで運用上の課題や他分野での活用可能性など検証を行う。今後、導入の可能性の高い分野や効果を期待できる分野を選定できれば活用に向け具体的な協議を行っていく。

Q. 質問

ふるさと納税の返礼品の充実についての考えは

A. 答弁

市の魅力のPRや農家や企業への応援、財政確保の視点により、返礼品の拡充に努める。今後は宿泊サービスやツアー等、交流人口の増加に役立つようなコンテンツを追加することで地域内経済循環や適切な歳入の確保に取り組む。

Q. 質問

企業版ふるさと納税の獲得に向けた取り組みは

A. 答弁

商工団体や金融機関との連携や本市が行う事業を通じて関わりのある企業への個別PRや首都圏に対しての周知など適切に対応を進めることで歳入確保に努めていく。

*SIBとは 事業を実施した成果によって行政が民間事業者に支払う報酬がきまる契約手法。そのため、成果志向の魅力的な事業につながる。また、成果によって支払い額がきまるため、財政リスクの軽減につながる。（豊田市は今年度よりSIBを活用した介護予防事業を実施します。）

19 鈴木 孝英（40分）*質問の一覧	
1 ソーシャルインパクトボンドへの取組	
(1) 本市が展開するSIB	
①介護予防をテーマにした経緯	
②SIB導入に関する準備と契約の内容	
③運営に係る民間事業者、市の役割	
④民間事業者に求められるノウハウと本事業での評価内容	
(2) 今後のSIB	
①SIB事業における条件や適正、課題	
②民間事業者の確保に対する見解	
③既存事業のSIB転換についての考え方	
④今後のSIB活用についての考え方	
2 ふるさと納税への取組	
(1) 個人版ふるさと納税への取組	
①ふるさと納税の状況	
②差額が拡大している要因解説	
③返礼品充実についての考え方	
(2) 企業版ふるさと納税への取組	
①市を取り巻く環境認識	
②5億円の寄付を受けた経緯と評価	
③企業版ふるさと納税に対する市の立場	
④企業版ふるさと納税にむけた今後の取組	

◆鈴木たかひでへ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。

事務所：豊田鉄工労働組合内

住所：豊田市細谷町4丁目50番地 Tel/Fax:0565-28-8437

自宅：豊田市西広瀬町登り256番地 Tel:090-3453-5316

